



DIST.NO.2530

ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA

WEEKLY REPORT

2013-14 年度 福島ロータリークラブ会報 vol. 19

■例会日/2013年11月14日(木) ■開会点鐘/12:30
 ■会 場/ホテル[辰巳屋]8F

■ 11月は「ロータリー財団月間」です

福島ロータリークラブホームページ
<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5の1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30 【例会場】ホテル辰巳屋 8F
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第19回 会長挨拶



2013-14年度 会長
紺野 晴郎

皆様にフィリピンの台風30号被害に対する支援のお願いがあります。

先週、マリキナロータリークラブとの双子クラブ3回目の更新調印と、おもてなし行事に参加いただきありがとうございました。

初日の国際奉仕委員会のメンバーとのウエルカムパーティー、調印式当日の歓迎会。そして、加藤義朋直前会長主催の会津観光、最終日の福島競馬場見学と、大いに楽しまれたことと存じます。皆様方に感謝いたします。

しかし、友好ムードとは相反して台風30号のニュースは刻々とマリキナロータリークラブの人達に伝えられ、レイテ島の災害情報により深刻な状況へとなっていました。

森川会員より地区大会の折、募金活動を行うようなら協力しますとの後押しをいただき、さっそく野地ガバナ補佐と連絡をとり、今後の対応策をガバナー事務所へ伝えましたら、地区大会でのアクションは控えてほしいが、地区で持っている非常用のテント4張をフィリピンへ寄贈しようという事となりました。岩山会員の通訳でファビーバスト会長と連絡が取れ、今医療チームを編成してレイテ島へ救援に行きたいので、是非すぐに欲しいとの事。渡邊公平ガバナーに直接電話で了解を得、支援物資を空輸して頂ける事となりました。

フィリピンの被災地が一日も早く復興される事をご祈念申し上げます。

幹事報告 菅野 裕一 副幹事



例会変更のお知らせ

●市内クラブ次週の例会は、当クラブを含めほとんどのクラブが地区大会に変更しておりますので、メイクの場合はお問い合わせ願います。

その他のお知らせ

●11月理事会議事録を配布しております。ご確認下さい。

例会次第

新会員スピーチ

農林中央金庫 福島支店長 有田 吉弘 会員

開会点鐘 紺野晴郎 会長
 ロータリー・ソング「我等の生業」
 ソングリーダー 高橋 聡 会員
 お客様並びに来訪ロータリアン紹介
 表彰・伝達
 会長あいさつ



紺野晴郎 会長

— 食 事 —

幹事報告 菅野裕一 副幹事
 各委員会報告
 ●広報マルチメディア・雑誌小委員会 高橋 聡 副委員長
 ●プログラム・ニコニコBOX小委員会
 プログラム担当 古保 猛 委員
 ニコニコBOX担当 浦部 博 委員

◎本日のプログラム

開会点鐘 紺野晴郎 会長

例会プログラムのご案内

- 12月5日(木) 12:30～「辰巳屋」
 ・年次総会 次年度役員・理事選挙
 ・丹治正博会長エレクトあいさつ
 ・「家族月間」にちなんでスピーチ
 坪井大雄親睦・R家族小委員長
 *誕生祝い *「四つのテスト」唱和
 ・18:30～ 12月理事会(石林にて)
- 12月12日(木) 12:30～「辰巳屋」
 ・新会員スピーチ 志村光昭会員(NTT東日本福島支店長)
 ・会長スピーチ「半期を振り返り」 紺野晴郎会長
 *プログラム紹介 *血圧測定
 *「友」12月号紹介
- 12月19日(木) 18:30～「辰巳屋」
 「年忘れ家族会」
- 12月26日(木) 18:30～「辰巳屋」
 「渡辺健寿会員 藍綬表彰 後藤忠久会員 厚生労働大臣
 表彰授賞を祝う会」
- 1月4日(土) 12:30～「辰巳屋」
 「市内クラブ合同新年会」 ホスト/福島北RC



新会員スピーチ



農林中央金庫 福島支店長

有田 吉弘 会員

1. 会社紹介（農林中央金庫とは）

農林中央金庫は1923年に産業組合中央金庫として設立。今年の12月で創立90周年を迎えます。昭和18年に農林中央金庫と名称を変更し現在に至ります。根拠法は農林中央金庫法（単独法）で、昭和61年に特別民間法人として純粋な民間金融機関となっています。

ここにおられる方々は、農協、漁協、森林組合という言葉聞いたことがあるかと思いますが、これらは農林水産業者が経済的・社会的地位の向上を図るために「1人は万人のために、万人は1人のために」を合言葉に設立された協同組合組織です。

農林中央金庫は、こうした農林水産業者の協同組織の全国金融機関と、機関投資家という2つの顔を持っています。主な業務としては、会員から預かった資金（JA・JF貯金等を原資とするもの）等を、国内外の金融市場等で効率的に運用し、会員（≒出資者）へ収益還元しています。

ちなみに、平成25年6月末時点での総資産は84兆円程度、そのうち56兆円程度を（債券、株式、クレジット等の）市場運用資産に投資しています。

私が入庫した頃は、（国内で）1年定期預金で資金を調達し、10年の日本国債に投資して運用するという国内の長短金利差で収益を得ておりましたが、バブル崩壊後の国内金利低迷等のなかで、本格的な国際分散投資に乗り出しました。

現在では、日本国内だけでなく、米国、欧州等の金利リスクや信用リスク等を収益化しております。投資する商品については、価格変動にかかる他の運用資産との相関関係を見ながら上位格付の商品等を中心に投資を行っていますが、リーマンショックの際には影響を受け、全国の会員から増資をいただき切り抜けた経緯もあります。

なお、テレビCM等で流れるJAバンクという言葉は、全国にあるJAの信用事業の総称であり、JAバンクという単独の金融機関が存在するわけではありません。

2. 自己紹介（農林中央金庫の職員として）

私自身は、昭和39年熊本県の生まれです。実家は肥後細川家の庭園であった水前寺公園のそばにあります。高校時代まで熊本で過ごし、大学で東京に上京。昭和63年に農林中央金庫に入庫しました。

農林中央金庫の職員は、全国転勤のある職員と転勤のない職員とに大別されます。現在の福島支店の例で言うと、支店付の出向者を含めた全国転勤のある職員19名、ない職員79名の合計98名の体制となっています。

私は、これまでの25年余りの勤務のなかで、本店各部

のほか、前橋、熊本、静岡、青森の各支店での勤務経験があります。現在は、東京の世田谷区に自宅を構えており、多額の住宅ローンを抱えつつ、今回の福島での勤務で3回目の単身赴任となりました。

ちなみに、私の家族は妻1人と女の子2人の4人家族。私以外全員女性で、私を含め家族全員が血液型がB型です。巷では、B型の人間がいる組織は組織が活性化するが、B型の人間だけしかいない組織は崩壊すると言われていますが、私の家族は今のところなんとか崩壊を免れております。

子供2人のうち、上の子供は今年の春大学を卒業し、今は某航空会社でCAとして勤めています。毎日日本全国を飛んでいますので、今後、機体がブルーの航空機にお乗りになった際に、名札に「有田」と書いてあるB型っぽいCAがいたら、私の娘の可能性大です。行き届かない部分が多々あるかとも思いますが、なにとぞご容赦いただきたいと思います。

3. 私の趣味について

本日は、趣味について話すように言われておりますが、先ほど申し上げましたように、転勤のある仕事に就いている関係上、日本全国いろいろな土地に住み、仕事をしてきました。本当は海外転勤もあるのですが、残念なことに私は英語が不得意で、これまで専ら国内で転勤を重ねてまいりました。

私の組織にも、そのような転勤生活に馴染めない人もいるようですが、私自身はこうした生活を楽しんでおります。その秘訣は、一言で言えば赴任した先の土地を好きになることです。（自分の故郷の熊本を除く）これまで赴任した先（群馬、静岡、青森）では、どの土地も好きになることができました。例えば、群馬では赤城山を始めとする上毛三山、草津温泉や焼まんじゅう、静岡では富士山はもとより、牧の原台地に広がる広大な茶畑やマスクメロン、青森では八甲田山、岩木山や酸ヶ湯、日本一の夕陽が見られる不老不死温泉などがすぐに浮かんできます。

もちろん限られた期間のなかで、その土地の人になりきるといのは無理ですが、自分の人生にとってそれほど短くない一時期を過ごすのですから、その土地を好きになることが自分の人生にとっていろいろな面でプラスになると考えています。

こんなことを言うと、「何をもってその土地を好きと言えるのか」といった質問を受けることがあります。この質問に対する答えは人それぞれだと思いますが、私の場合は、「その土地の歴史・文化・食べ物についてまず興味を持つことです」と答えることにしています。

私自身、福島に着任してから4ヶ月間が過ぎたところですが、今のところ、県内の名所・旧跡といわれる場所に足を運んでおります。これまでに行った場所では有名どころとしては、白河の関、勿来の関、会津戊辰戦争の史跡（戸の口原の古戦場跡、十六橋、石部桜、中野武子奮戦の地等）、大内宿、二本松の霞が城、鶴ヶ城、小峰城等です。このほか、ちょっとマイナーなところでは相馬の丹下左

膳の碑などにも行ってみました。いずれの場所もそれぞれ歴史があり、そうした部分に思いを馳せながら訪れてみると、感慨がなお深まる感があります。

例えば、白河の関。私は、以前から関東と関西の境界がどこなのかという点に興味があり、言葉や風習、食べ物等のテーマで調べてみたことがあります。今回、福島に着任するにあたり真っ先に思ったのは、「関東と東北の境界はどこだろう」ということでした。それで、白河地区での会議出席の途中に白河の関に寄ってりましたが、結果的には、その一筋西側の道路沿いにある「境の明神」が、より一層興味深く感じました。

ご承知かもしれませんが、白河の「境の明神」とは、栃木県と福島県の県境の小高い丘に並ぶ「住吉神社」と「玉津島神社」の2つの神社を合わせて「境の明神」と呼ぶものですが、奥州白河側・関東下野側ともに、自らの側に女神である「玉津島明神」を祀り、相手側に男神である「住吉明神」を祀っているとしていて、全く逆のことが書いてあります。これは、女神が国内を守り、男神が外敵を防ぐという古来の信仰が根底にあるものと思われ、非常に面白いと思いました。この「境の明神」には、奥の細道を旅した芭蕉と曾良も訪ねており、その場所に数百年の歳月を経て自分もいるということに、訳もなく感動したものです。

同様に、市内で文知摺り橋を見つけたときもびっくりしました。皆さんにとってはなにをいまさらということだと思いますが、私は、初めてその名前を見たときに、近くにある信夫山の名前と重ねて、高校の頃に夏休みの宿題で覚えさせられた、百人一首に出てくる光源氏のモデルである河原左大臣源融の「みちのくのしのぶもじずりたれゆえに みだれそめにし われならなくに」(陸奥産のしのぶもじずりの乱れ模様のように私の心は乱れているが、一体誰のせいで乱れ始めたのか、私のせいではないのに)という(古今和歌集に収められている)和歌のことを思い出しました。さらに、この歌枕になった文知摺りの文様を写していた石が現在に残っていると聞いて、一人で勝手に感動したりしております。

次に食べ物のことについて話をしたいと思います。福島にはいろいろとおいしいものがあります。そういった点では異論があるかもしれませんが、私の感覚では、福島と言えば、まずラーメンのことが頭に浮かびます。全国的に有名な喜多方、白河ラーメンが代表的ですが、実際に食べてみて相馬地方の味噌ラーメンなども捨てがたいと思います。

ちなみに、喜多方ラーメンでは今のところ「長谷川食堂」が一番好きで、「すがい食堂」のモツ煮も捨てがたい。その他に会津地方では会津若松市内や芦の牧温泉付近もおいしいラーメンはたくさんあると聞いております。私が食べた中では国道49号線で会津若松市内に入手前にある「古川農園」のラーメンは素朴な感じが絶品でした。また、白河では、県外まで名がとどろく「とら食堂」のラーメンは、先代のおやじさんから代変わりして少し味が落ちたと聞いていましたが、とても気に入りました。

これからは、新そばの季節になりましたので、しばらくの間はそばを中心に食べに行こうと思っています。今度行こうと思っているのは、猪苗代の「ラネージュ」という蕎麦屋、蕎麦屋なのにラネージュという名前に興味をそそられます。聞けば元々は喫茶店だったとのこと、今か

ら食べに行くのが楽しみです。

それから、福島では農産物も忘れてはいけません。夏の「桃」はおいしかったです。その後の「ブドウ」も「ナシ」もおいしかった。これからは、伊達の「あんぼ柿」・会津の「見知らず柿」が楽しみです。

以上、まだ4ヶ月余りなので、まだまだおいしい食べ物があるのではと探索中です。「これは」というものがあればぜひ教えていただければ幸いです。

4. 福島に対して何ができるか

最後にまじめな話をしたいと思います。皆様ご承知のとおり、平成23年3月のあの震災から2年と8ヶ月が過ぎたところです。私は、この7月に着任した直後に、浜通りの被災地(相馬・南相馬市、浪江・双葉町)を1泊2日で視察してきました。原発の近くの双葉町には農協系統の厚生連が運営していた双葉厚生病院があり、廃墟となった施設内に足を踏み入れましたが、椅子や機材が散乱し、時計の針は14時46分で止まったまま。震災で被災した当時のままの施設をみて、東京や西日本では、震災のことはもうなにやら昔のことのように思われているなかで、復旧・復興はまだまだ遠く、息の長い取組みになることを強く感じざるを得ませんでした。

また、福島では、震災による津波被害とともに原発事故による被害の影響が未だ収束の気配を見せていません。私の仕事関係の農業について言えば、同じ震災被害を受けた宮城県域で営農再開した農地の比率が6割であるのに対して、福島では放射線量の問題等もあり、未だ2割に留まっております。

加えて風評被害も深刻です。桃は収穫のピーク時の8月上旬に東電の汚染水漏れが発覚し、直後に価格が2割下落しました。コメも全量全袋検査をしていますが、保管している倉庫からの出庫率は他県域に比べ低水準が続いています。

こうした状況に向き合ったときに何ができるのか。農林中央金庫としては、農林水産業の復興を全力かつ多面的に支援するため、震災直後の平成23年度から支援額300億円の「復興支援プログラム」なるものを創設しております。内容は、「被災した農林水産業者への支援」と「被災会員への事業・経営支援」であり、金融面では復興ローンや復興ファンドによる資金対応、災害資金への利子補給、農業用資材のリース料助成等を行っております。

また、金融以外の面では、被災漁業者への出荷用ダンボールの費用助成、鮮魚を運ぶ魚箱や被災地の地元木材を使用したベンチ・テーブルの寄贈等を行っているほか、営農や漁業再開に向けた資材等の支援についても取組んでおります。

私個人としても、福島の農業の再興と風評被害の払拭に少しでも役に立てるよう、これからの当地福島での生活・仕事のなかで微力ながら真摯に取り組んでいきたいと思っている次第です。

以上、長くとりとめのない話になりましたが、私の新会員スピーチとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



お客様並びに来訪ロータリアン

●ゲスト

RI第2530地区
ガバナーエレクト

野崎 潔 様
(福島北RC)



●ベトナム留学生

RI第2530地区
ガバナーエレクト

グエン・フー・ロク さん
* 奨励金の贈呈



広報マルチメディア・雑誌小委員会報告

高橋 聡 副委員長

*「友」11月号の紹介



プログラム・ニコニコBOX小委員会報告

古俣 猛 委員

* 12月プログラムのご案内



新会員入会式

(有)菅野地所 代表取締役
かのう たけし
加納 武志 様
…紹介/紺野会長



表彰・伝達

●ポールハリス
フェロー Pin+3
(累計4,000ドル達成)
安藤健次郎 会員



●ポールハリス
フェロー Pin+2
(累計3,000ドル達成)
土屋 敦雄 会員



●ポールハリス
フェロー
(累計1,000ドル達成)
氏川 守義 会員

私のひとこと 「ゴルフクラブの進化」



古俣 猛 会員

20年以上前。ドライバーはパーシモンでアイアンはほとんどがマッスルバッグのアイアンでした。ドライバーの長さは42インチ、今の7Wの長さ。ヘッド体積は200cc以下で重さは390g以上ありました。今のドライバーと比べると

全く別物のクラブとなってしまいましたが、性能の進化は、目を見張るものがあります。同じ人間が打てば、パーシモンより、40～50ヤード程度今のドライバーは飛ぶと思います。芯をはずして打った場合の飛距離ロスも4倍ほど違うらしいです。ましてボールの進化も著しく、糸巻きボールと比べて曲がり方が極端に違います。現在は練習不足をある程度は道具でカバー出来る時代です。皆様も、もし10年以上同じクラブをお使いでしたら、是非最新のクラブを試されたら如何でしょうか!!

ニコニコBOX報告

本日のニコニコBOX投入額 22件 **¥45,000** 累計 **¥930,000**

▶紺野 晴郎 会長

幡 副会長、加藤直前会長に市内8クラブ会長・幹事会に出席して頂きました。ご苦勞の程、感謝申し上げます。また、本日加納武志様の入会、大歓迎致します。

▶加納 武志 会員

本日より入会させて頂きました加納武志です。宜しくお願い致します。

▶有田 吉弘 会員

新会員のスピーチで本日は大変緊張していますが、何とか頑張りたいと思います。

▶茂田 士郎 会員

有田さんの新会員スピーチを楽しみにしています。



浦部 博 委員

▶白岩 康夫 会員

めっきり寒くなりました。ベトナムからの留学生、よろしくお願い致します。

▶松浦 敬裕 会員

i-phoneの販売も10月末には県内の全ドコモショップで取扱始めました。福島県は通信の品質も良いので、i-phoneをご検討の方はよろしくお願い致します。

▶浦部 博 会員

福島民友新聞社と連携して「信天山未来展」というキャンペーンを開始致します。17日の福島民友新聞朝刊に全7段で掲載されますので。ご覧下さい。

他に

安藤健次郎/氏川 守義/江花 亮/菅野 裕一/児玉 健夫/古俣 猛/高橋 聡/田沼紀美子/宮本 行一
中島 健至/幡 研一/三宅 喬/森川 英治/八巻 恵一/渡部 世一